

第二学年通信

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

NO.4

令和2年11月10日

目指せ！保育技術検定取得

保育福祉コースの特色である保育技術検定（4級）の資格取得を目指した集中講座が11月より始まりました。集中講座は、4週にわたって蘭組の授業に組み込まれて行われます。各週7～8時間の集中講座を実施し、その後実技試験がおこなわれます。実技試験は4種目（音楽・リズム表現、造形表現、言語表現、家庭看護）で4種目すべて合格した場合に4級取得になります。出題内容は、高校生にも必要とされる子育ての知識に関する基本的な内容です。普段の保育の授業で練習してきた歌唱やピアノ、読み聞かせを集中講座でより磨きをかけてください。そして、家庭看護の技術は将来、子供が生まれた時に役立つおむつ交換や衣類の着脱など、お世話行動を学びます。普段の授業だけではなく、集中講座で学んだことや技術を自分の将来のために、しっかりと覚え、身に付けましょう。保育士や幼稚園教諭を目指している人は、今回の4級を足掛かりにして、さらに上の級へとステップアップを目指していきましょう。今回の集中講座がみなさんの「夢への第一歩」になるようにがんばってください。

コロナ禍での創立記念祭

今年は新型コロナウイルス感染予防のため、例年とは違う形式の創立記念祭が行われました。祝賀式と運動の部を10月の24日（土）31日（土）の2週に分けて実施しました。

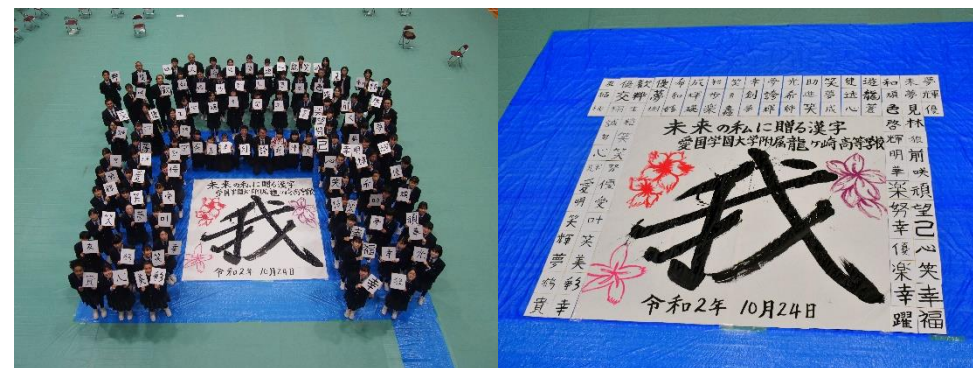
祝賀式（10月24日）

今年の祝賀式は、例年とは違い、生徒の司会により3部構成で行われました。

第1部は式典を行い、理事長挨拶や学校長式辞などが厳粛に行われ、56回目の祝賀式をお祝いしました。ただ、今年は感染予防のため全員が白マスク着用で、国歌や校歌は斉唱ではなくピアノによる演奏という形をとりました。来賓や保護者を招待せず、同窓生代表挨拶も代読で行いました。

第2部は愛国学園や龍ヶ崎校の歴史をスライドで振り返りました。「愛国学園のあゆみ」では愛国学園開校当時の様子や織田小三郎先生の開校への思いを知ることができ、愛国学園に対する愛着や誇りが一層強まったと思います。「龍ヶ崎校ヒストリー」では、過去の創立記念祭を中心に愛龍校の歴史を振り返りました。現職員の就任当時の様子や若かった時の姿を見た生徒たちはあまりの違いように笑ったり、驚いたりしていました。時には「これ誰？なに先生？」という声も聞かれました。スライドの最後は、生徒一人ひとりが思い思いに書いた「未来の自分へ」「未来の学校へ」向けての全員のメッセージがスクリーンに映し出され、とても素晴らしいエンディングになりました。

第3部は6人の有志生徒による書道パフォーマンスが行われました。はかま姿で大きな筆を持った3年生2人が「未来の私に贈る漢字」と題を書いた後、自分の思いを込めて「我」の一字を力強く書きました。そして1年生が「我」のまわりになでしこの花を描き、作品に花を添えました。最後に、全生徒が事前に色紙に書いておいた「漢字一字」を「我」のまわりに並べ、書道パフォーマンスが完成しました。生徒が書いた色紙にはメッセージ同様、一人ひとり思いが込められた一字でした。



運動の部（10月31日）

今年は「スポーツフェスティバル」として、ドッジボール・8の字跳び・テコとボール・クラス対抗リレーを実施しました。今年はコロナの影響でクラスが団結して行う行事が中止になってしまいましたが、各クラスがクラスTシャツを作り、各種目ともクラスのため一所懸命頑張っていました。

ドッジボールの決勝戦では強敵の3年利根組を撃破し、蘭組が見事に優勝しました。最後に蘭組対職員チームで試合をしましたが、この試合も蘭組が職員チームを破りました。おめでとうございます。

クラス対抗リレーでは竹組が準優勝しました。3年利根組の優勝を阻むことはできませんでしたが、見事な準優勝でした。

両クラスとも友達と助け合い、各種目の得意な生徒が苦手な生徒をサポートした結果だと思えます。各種目ギリギリの人数で臨み、この活躍は素晴らしいことだと思います。これからもクラスのために助け合い、心に残る高校生活を送ってください。



選手宣誓・3年生のMさん



ドッジボール優勝蘭組



クラス対抗リレー準優勝竹組